

料金別納郵便



川崎忠夫 うつわ 新作展

令和7年1月23日(木)~28日(火) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時 (最終日28日は午後5時まで)

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

陶歴 昭和37年 武蔵野美術大学 工芸工業デザイン科 卒業 有田の岩尾磁器に入社
昭和44年 J.O.C.Vより、インドにて窯業指導
昭和46年 帰国後、岩尾磁器を退職、窯を築く
昭和50年 第25回 日本伝統工芸展 初入選
昭和54年 寛土里にて個展 その後、毎年定期的に開催
昭和58年 日本工芸会 正会員
平成12年 第40回 伝統工芸新作展 朝日新聞社賞 受賞
令和元年 柿傳ギャラリーにて個展 その後、定期的に開催

川崎忠夫さんは程無く米寿を迎えようとするベテラン陶芸家です。神奈川県の逗子市を流れる田越川のほとりの工房で懸命に制作されています。制作の傍ら、陶芸教室も主宰されており、その生徒さん達の作品は、皆さんのご努力に加え川崎先生の熱心なご指導もあり、玄人はだしの逸品揃いだそうです。

彼の作品は、磁胎に、丁寧に上絵付けが施された、色絵、染付、朱華 (はねず)、緑釉彩といった作域のうつわです。モチーフは、野に咲く草花や、鳥や小動物を描き、確かな筆致と優しい色調で、心が和むうつわ達です。可憐な草花は風に吹かれて今にもそよぎ、愛くるしい鳥や動物はご飯を求めて今にも動きそうです。

さて、弊廊で二年振り、節目の五度目となる本展のテーマは「チャーミングなうつわ」だそうです。最新作を発表いたします。ご案内状用にお送りいただいた花入 (オブジェにもなります) は、美しい色絵のボディにちょこんと可愛い鳥が乗った、まさに「チャーミング」な逸品で、私も嬉しくなりました。一年で最も寒い大寒の時期で恐縮ですが、ご高覧をいただければ幸いです。

店主 安田尚史

柿傳ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式Instagram



